

## 苓洲の峰（れいしゅうのみね）520m



天竺から苓洲の峰



苓洲の峰山頂 520m



苓洲東峰(四等三角点 518m)



「苓洲の峰」は天草市と苓北町の境界にあり、その最高点を「苓洲の峰」と呼ぶ。苓北町木場地区から仰ぐと柱岳から右へ屏風を立てたような山並みの中央に「苓洲の峰」、さらに右へ「雪州」まで続いている。都呂々川の谷を挟んで天草下島最高峰の「天竺」がある。

私はこの山を歩いた時その高さに興味がわいて四等三角点の有る山(518m)から水準測量を行ってみた。その結果このピークは 520m であることが判明した。矢筈岳 476m、柱岳 518m、雪州 510m よりも高くこの山域の最高峰であった。この山を「苓洲の峰」と命名し、小さな標識を立てた。東側の四等三角点の山を「苓洲東峰」と名付けた。この北側に三角形をした端正な形の山があり送電線鉄塔が建っている。この山を「苓洲北峰 502m」と呼ぶことにした。

登山口は平床広野地区から近く、空き家が二軒あり、その横から荒れた里道を稜線の鞍部へ登ると道は畦状に盛り上がっている。

ここから北西へ稜線を辿ると柱岳に至る。反対に南東へ直進すると木場と宇土に至り、そのまま稜線を東へ登ると円く大きな山頂に立ち、ここが「苓洲の峰」である。南側に檜林があり北側は広葉樹林になっている。さらに藪を分けて一旦高度を下げ登り返したピークに四等三角点の標石がある。ここが「苓洲東峰」である。林道へ出て先へ進むと「雪州」山頂に至り赤白の送電鉄塔がある。平床川の上流松の塚川には百貫石(ひやっかんごく)と百貫の滝があり、シマバライチゴが自生する。

[地図] (1/2.5 万図) 天草下田

[記録] 昭和 62 年(1987)11 月 15 日

[タイム]①平床広野—20 分—鞍部分岐—30 分—苓洲の峰—10 分—苓洲東峰(三角点)—10 分—林道—30 分—広野 ②林道宇土木場線峠—40 分—稜線鞍部分岐—20 分—平床広野

[参考文献]①,国土地理院 四等三角点の記 ②,法務局 字図 ③,観海アルプスNo.2

(天草山岳会 N)